

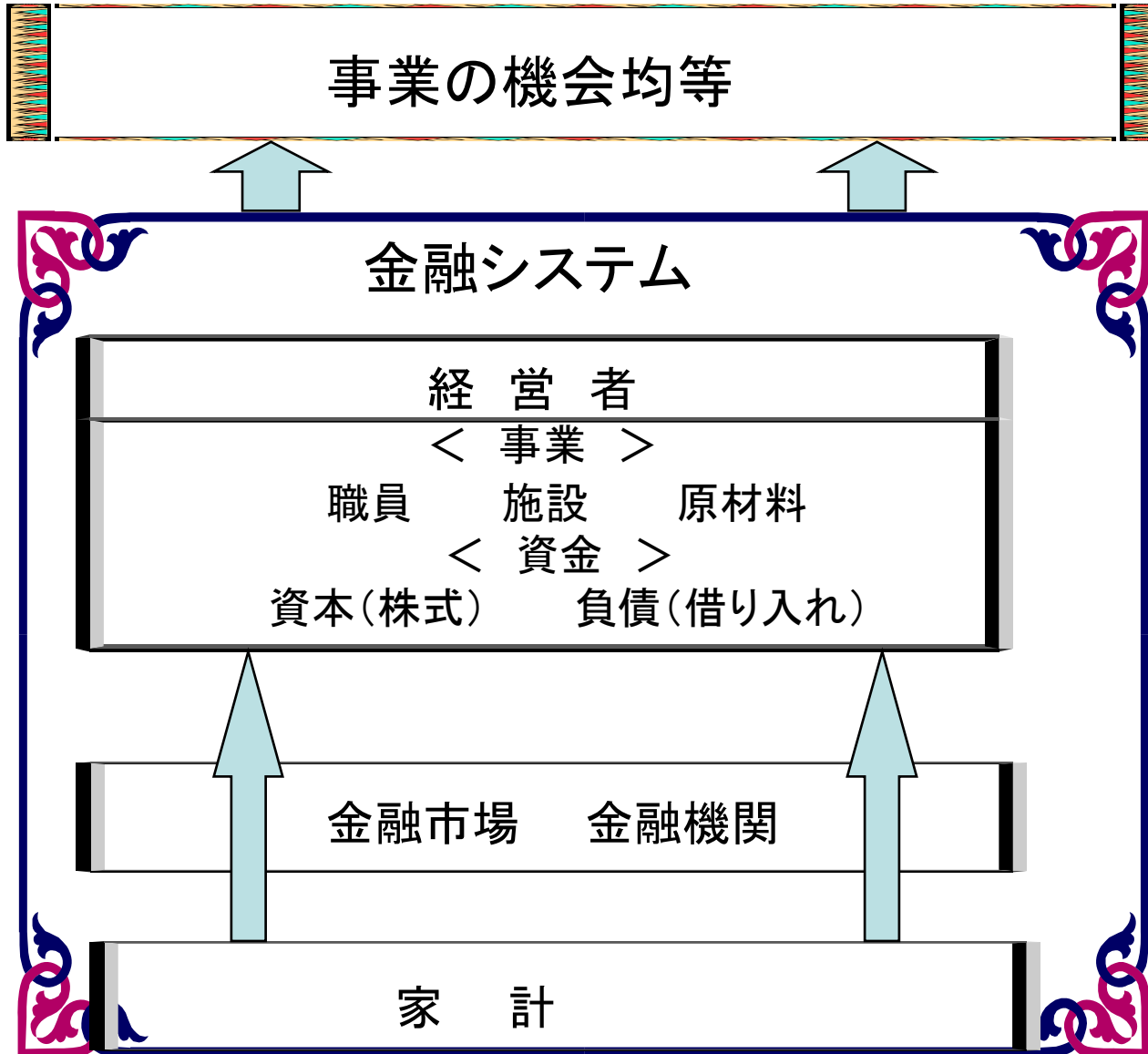
証券監視委員会の機能と課題

2009年12月21日

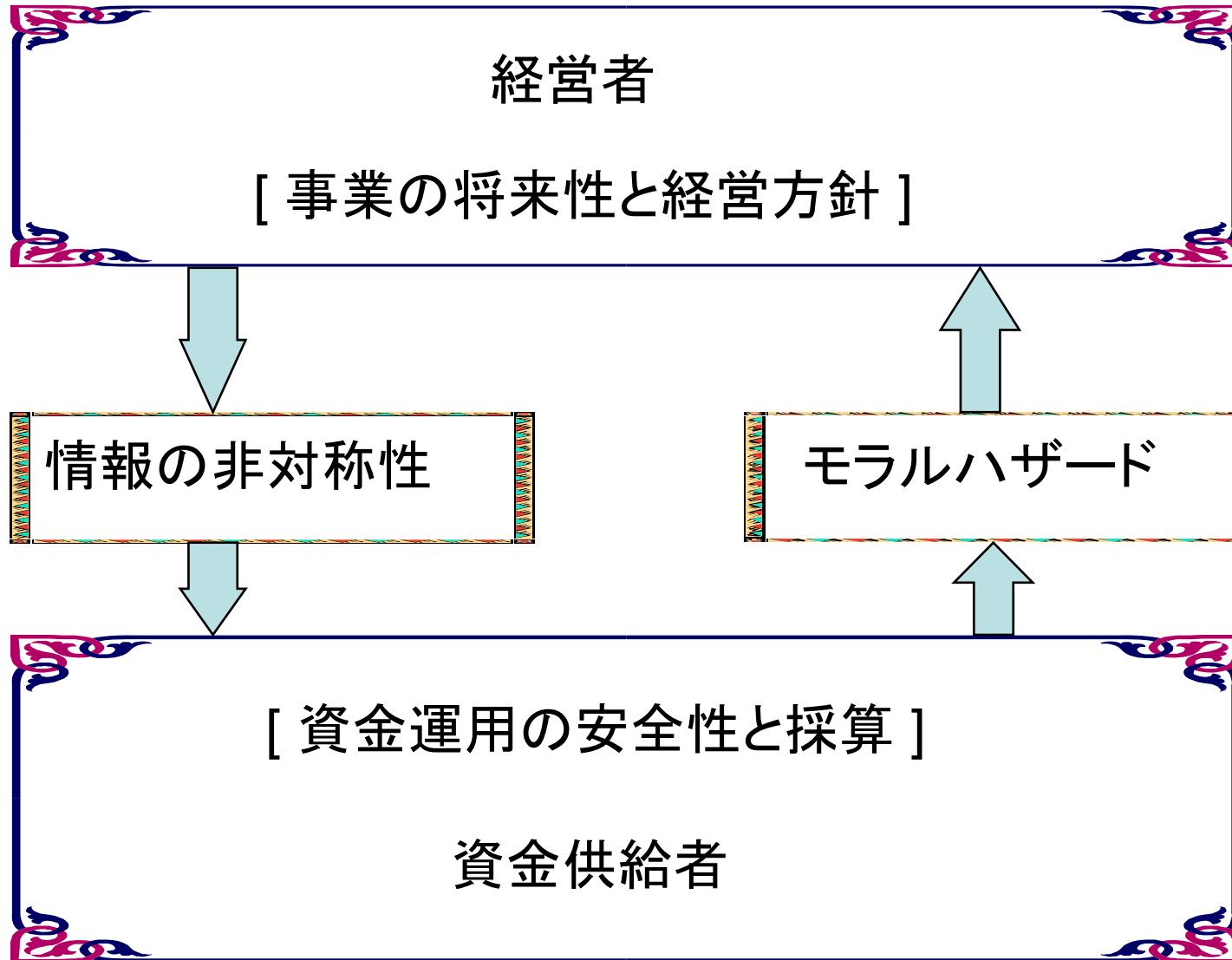
証券取引等監視委員会

木下信行

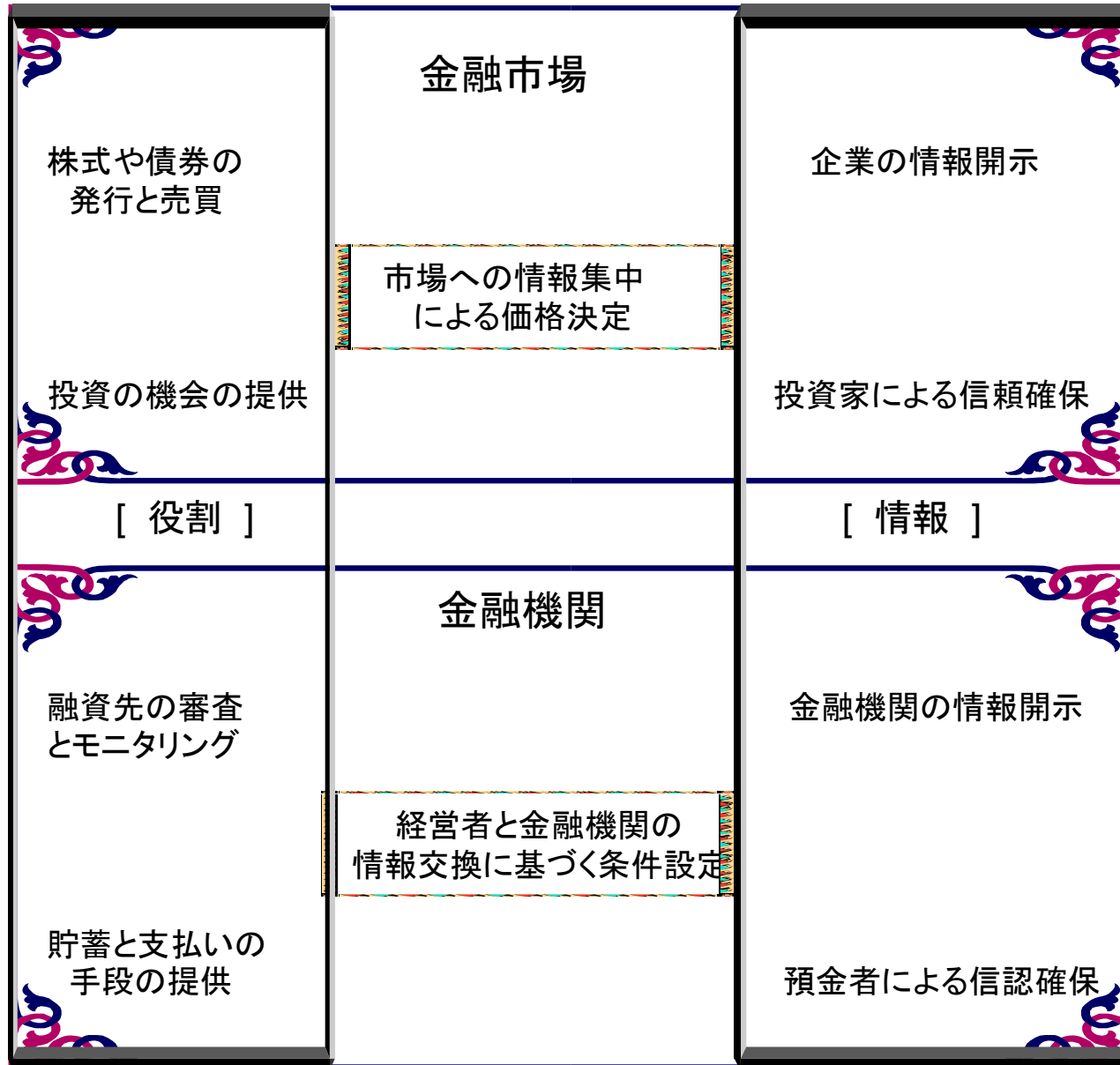
金融システムの役割



金融システムの問題点



金融市場と金融機関



金融行政の主な機能と証券監視委員会

[金融市場]

< 金融商品の取引 >

- 情報の適正性の確保(会計監査等)
- 情報の流通の促進(証券取引所等)
- 情報の公正な利用(不公正取引規制等)

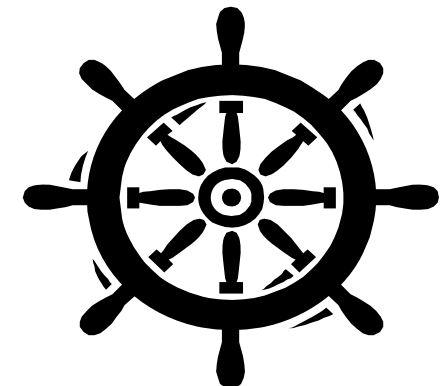
< 金融商品の仲介事業者 >

- 金融商品に関する情報提供(リスク情報等)
- 金融商品の適正な仲介(適応性原則等)

< 証券監視委員会 >

[金融機関]

- 金融機関のセーフティネット(預金保険等)
- 金融機関の監督(銀行、保険会社等)
- 金融機関の情報開示(不良債権額等)



証券監視委員会の具体的活動

使命

市場の公正性・透明性を確保し、投資者を保護すること

具体的な業務

情報の収集・分析・審査

情報の検討・処理(検査、調査)

情報の発信(通知、勧告、告発、公表)

中期的な活動方針(平成19年9月策定)

基本的な考え方

機動性・戦略性の高い市場監視

市場規律の強化に向けた働きかけ

(重点項目)

包括的かつ機動的な市場監視の実施

課徴金制度の一層の活用

金商法の適切な運用

自主規制機関等との連携

グローバル化への対応



証券監視委員会を取り巻く環境変化

世界的な金融危機とその影響

金融商品のリスクの増大
金融市場の混乱
実体経済の減速

不公正取引の誘因の増大
金融商品取引業者の財務面のリスクの増大

金融規制の見直し



証券監視委員会の対応すべき課題

市場の公正性・透明性に関するリスクの深化への対応
⇒ 市場動向のタイムリーな把握
対処すべきリスク要因の分析

行政対象の増大、多様化への対応
⇒ 効率的な事務運営
行政手法の多様化



市場監視における取組み

情報の収集・分析・審査

発行市場と流通市場の双方に目を向けた監視

店頭デリバティブ等の取引の実態把握、監視手法の検討にも注力

情報の検討・処理と個別の発信

不公正取引に対する監視の強化

課徴金	監査役、公認会計士、証券会社社員等による内部者取引 相場操縦事案
犯則事案	不公正ファイナンス等の偽計事件としての告発 クロスボーダー事案

規制環境の変化への的確な対応

改正金商法の的確な執行
グローバル化、IT化の進展への対応

公表による情報発信

個別事案、課徴金事例集の公表

情報発信のチャネル、内容の充実



証券検査における取組み

証券検査の業務見直し

「証券検査に関する基本指針」の改正

内部管理やリスク管理の態勢にも着目
予告検査の試行的実施
経営陣等との意見交換の充実
提出資料一覧の作成
オフサイトモニターの充実



多様で多数の対象事業者に対する実効的な検査

情報の分析に基づくリスクベースでの事務運営

検査における情報の検討・処理の手法の多様化

グローバルに活動する事業者のリスク管理態勢の検証
信用格付け会社に対する検査手法の構築
集団投資スキームに対する検査の実施

検査対象事業者のインセンティブに働きかける情報発信

